

平成 24 年 7 月の熱中症による救急搬送の状況

平成 24 年 7 月の熱中症による全国の救急搬送の状況（確定値）
を取りまとめましたので、その概要を公表します。

【資料】

[平成24年7月の熱中症による救急搬送状況](#)



(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：日野原・伊藤・早川
電 話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7539

平成 24 年 7 月の熱中症による救急搬送状況（確定値）の概要

平成24年7月中の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総数

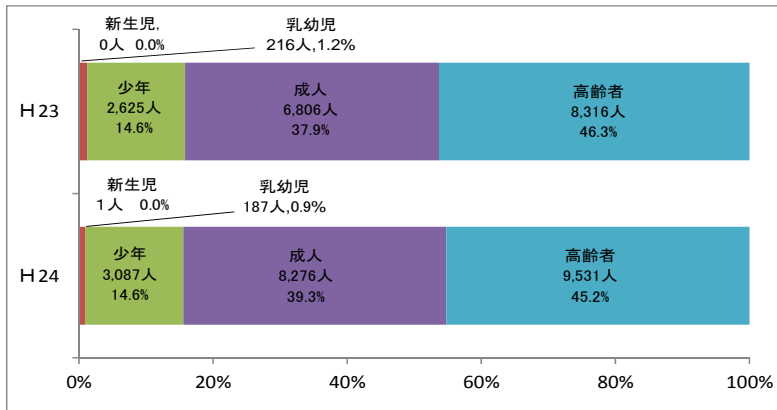
平成 24 年 7 月の全国における熱中症による救急搬送人員は 21,082 人で、平成 23 年 7 月の熱中症による救急搬送人員 17,963 人と比べて、約 17.4%の増加となりました。（集計 1、集計 2、集計 3 参照）

これは、当庁の調査開始（平成 20 年）以来、7 月では過去最多であり、月単位としても、平成 22 年 8 月の 28,448 人に次ぐ 2 番目となっています。

2 内訳

(1) 熱中症による救急搬送人員の年齢区分をみると、高齢者（65 歳以上）が 9,531 人（45.2%）と最も多く、次いで成人（18 歳以上 65 歳未満）8,276 人（39.3%）、少年（7 歳以上 18 歳未満）3,087 人（14.6%）、乳幼児（生後 28 日以上 7 歳未満）187 人（0.9%）の順となっています。（集計 1 参照）

熱中症搬送人員年齢区分（構成比）

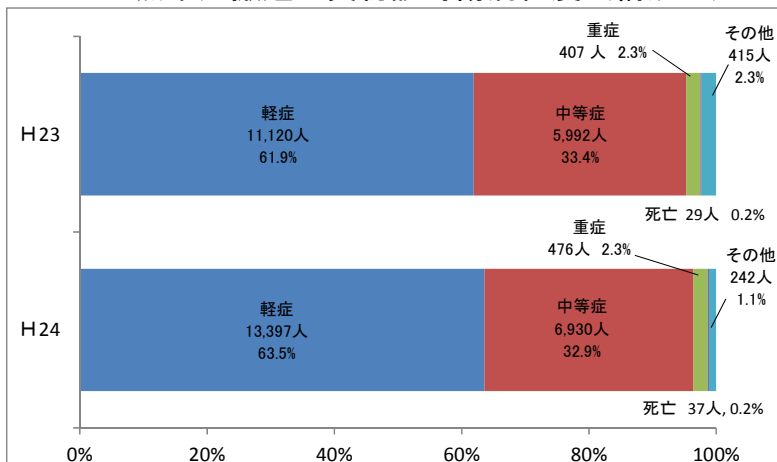


新生児：生後 28 日未満の者
 乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
 少年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者
 成人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者
 高齢者：満 65 歳以上の者

※熱中症の搬送人員に対する割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合があります。

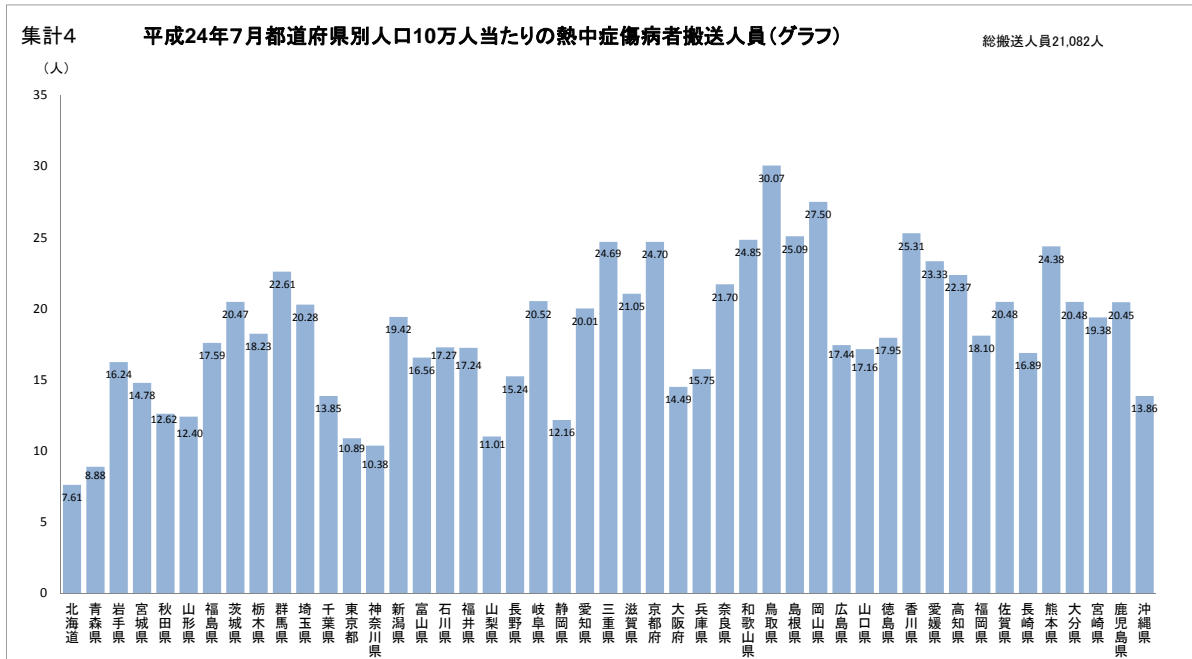
(2) 熱中症により搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く 13,397 人（63.5%）、次いで中等症 6,930 人（32.9%）、重症 476 人（2.3%）、死亡 37 人（0.2%）の順となっています。（集計 1 参照）

熱中症搬送人員初診時傷病程度（構成比）



軽 症：入院を必要としないもの
 中 等 症：重症または軽症以外のもの
 重 症：3 週間の入院加療を必要とするもの以上
 死 亡：医師の初診時に死亡が確認されたもの

(3) 都道府県別人口10万人当たりの熱中症搬送人員は、鳥取県が最も多く30.07人であり、次いで岡山県27.50人、香川県25.31人の順となっています。(集計4参照)



3 その他

熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどが必要です。また、高齢者は温度に対する皮膚の感受性が低下し、暑さを自覚できにくくなるので、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。

消防庁では、国民へ熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、下記のHPで熱中症に関する情報及び毎週、熱中症による救急搬送状況の速報値を提供しています。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

参考 (気象庁「7月の天候」より)

期間の前半は梅雨前線が西日本から東日本に停滞し、太平洋高気圧は本州の南海上で西に張り出した。このため、沖縄・奄美では晴れの日が多かったが、北日本から西日本では曇りや雨の日が多かった。特に九州北部地方では11～14日にかけて、非常に湿った空気が流れ込んだため記録的な大雨となり甚大な災害が発生した(「平成24年7月九州北部豪雨」)。

月の中頃には、太平洋高気圧が本州付近で次第に強まり、東・西日本と沖縄・奄美を中心に晴れの日が多くなった。しかし20～22日頃にかけては、北・東日本では太平洋側を中心にオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響により曇りとなり、気温が平年を大幅に下回ったほか、東日本日本海側や西日本でも湿った気流の影響により雲が広がりやすく、一部では大雨となった。

23日頃からは太平洋高気圧が西日本付近で強まったため西日本では晴れた。その後26日からは、北日本から西日本にかけて太平洋高気圧に覆われて晴れて気温が上がり猛暑日となった所もあった一方、沖縄・奄美では湿った気流の影響により雲が広がりやすくなった。

なお、四国、中国、近畿、東海、関東甲信地方では17日ごろ、北陸地方では18日ごろ、九州南部と九州北部地方では23日ごろ、東北南部と東北北部では26日ごろ、梅雨明けした(速報値)。